



野辺地西高生が花植え付け

野辺地

八戸学院野辺地西高の1年生60人がこのほど、野辺地ロータリークラブのメンバーらと、同校でマリーゴールドの花植活動を行い、日ごろ出入りする校舎の玄関を飾り付けた。

合同の花植活動は2022年度から展開。今回は、120株をプランターに植え付けた。

冒頭、同クラブの百田忠社会奉仕委員長が「作業をすることで心の美化にもつながる。小さな活動を大きなものにしていこう」とあいさつ。生徒たちはプランターに土を入れた後、苗を2、3株ずつ植え付け、玄関付近に運んでいた。

活動後、吉崎優介さん(16)は「学校の環境をよくしたいとの思いで作業した。美しく咲いてほしい」と感想を述べた。(水野大輔)